



1 夏を制する者は受験を制す！

上記の言葉は、毎年夏休み前になると耳にすることが多い言葉です。今年の夏休みは35日間あります。3年生は基礎基本の土台を作る最後のチャンス。1・2年生にとっては、学習習慣の確立や受験への準備期間。夏休みをどう使うかでその成果は変わってきます。とはいえ、時間は有限です。以下、夏を制するための攻略法を確認してみましょう。

STEP 1 分析

3年生：「これまで学習してきた内容（基礎基本）の定着＝難しい問題を解くための土台作り」をする最後のチャンスがこの夏休みです。大切なのは、今難しい問題まで解けることではなく、入試本番で解けることです。土台というのは簡単には作れません。この夏に基礎基本の定着ができないと、その弱点は受験本番までズルズルと引きずることになってしまいます。そこでまず行ってほしいのが、自己の**学力分析**（現時点での自己の学力の把握）です。時間は有限です。今どこができておらず、どこができているかを理解していないと、効率的な勉強をすることができません。そのために、例：①基本問題は解ける②応用問題もある程度解ける③考え方も解き方も理解できていない（＝弱点）、など自己の学力を分析し、学習の優先順位をつけましょう（上記の場合は③を優先的に学習する）。学力分析には、模擬試験の個人成績表に掲載されている分野別得点率なども参考になります。

1・2年生：自己分析をしっかり行いましょう。自らの興味・関心を分析し、高校卒業後どうありたい（どこで、どんなことを学びたい）のか？を考えることが重要です。そのために、〇〇体験、ボランティア活動などの校外活動に積極的に参加し、自らの志向性を確認するのも有効です。オープンキャンパスにも参加し、大学とはどんな場所なのか体験したり、学部・学科研究を深めてみるのもよいでしょう。そして、一番大切なのは、「受験はまだ先」とは考えないことです。3年生と同じように自己の学力分析を行い、弱点を把握し、その克服を優先的に行いましょう。受験の土台作りを早くからスタートし、弱点を積み残さないことは、3年生の時の自分を助けてくれることにつながるのです。

STEP 2 計画

3年生：分析してわかった優先順位をもとに、受験勉強の「**長期的な計画**」と「**短期的な計画**」を立てましょう。長期的な計画は、『8月中旬までに数学の三角関数の基本は解けるようにする！』とか『7月中に古典の助動詞の接続や活用を完璧にする！』などアバウトなもので構いません。短期的な計画とは、長期的な計画を実行するために、1日あたり何をどれくらい進めて勉強するのかという1日のスケジュールリングのことです。日々の時間の使い方・学習行動を決めておくのです。スケジュールの可視化はとても有効です。計画倒れになりやすい人は、短期的な計画をきちんと立てることができていないパターンが多い傾向があります。そしてポイントは、予備日や予備時間も準備しておく、ということです。これは、余暇の時間ではなく、不測の事態（体調不良等）への準備と進度の調整用です。「なんとなく勉強する」ことは一番非効率です（勉強しないよりはいいですが）。進路実現に向けて、自分専用夏計画を立てよう。

1・2年生：自己の弱点を把握したうえで、課外授業、出される夏休み中の課題や弱点克服のための取り組み、校外活動や部活動、家庭での予定を盛り込んだ学習計画を立てましょう。自分にあった学習方法やスケジュールリングを模索するのに良い機会です。1・2年生のうちに身に付けておいてほしいものはやはり「**学習習慣**」なのです。毎日30分も学習に向き合えない人が、受験生になったからといって急に毎日4時間5時間の勉強に集中して取り組める人に変身することはできません。学習習慣を付けるにも、計画がなければスタートできないのです。

STEP 3 実行

計画を立てたら、あとは実行のみ！ですが、「計画を立てて満足してしまう」、「時間があるからと言って後回しにしてしまう」…そんな人も多いでしょう。学習には**緊張感や危機感を持つことが必要**です。学校図書館や自習室、公共施設の勉強スペース等をうまく利用したり、制限時間を設けて学習したり、自分に負けない方法を探し、実行していこう。

2 共通テストまであと184日 (令和7年7月16日現在)

今年度の共通テスト本試験は、令和8年1月17日(土)・18日(日)。約半年後に迫ってきました。人生を大きく左右する一大イベントのカウントダウンが始まっていると感じている人が多いのではないかと思います。以下、今後の学習方法や進路探究のあり方について参考にしてください。

①学習の教科バランスを考えるとともに、理科・社会の学習ウェイトを高めていく

得意科目があることで傾斜配点(=特定の科目や分野の配点を他の科目よりも高く設定すること)を活かせるという観点から得意科目を伸ばすことが大切。一方、苦手科目は伸びしろが大きいという観点から苦手科目を克服することも大切。当然、どちらも大切な視点です。しかし、時間は有限。志望校の配点比率を念頭に置いて取り組む必要が出てきます。現時点では、志望校は1校に絞り切らず、必要となる教科・科目は最大値で考え、学習時間の配分をしましょう。また、入試の配点を考えるなら、この時期から理科や地歴公民の基礎基本の定着に取り組みはじめることも大切です。

②模擬試験の結果を分析し、同じミスは繰り返さない

模試の結果によって、全国における自分の位置を確認したり、弱点を見つけその対策をすることが受験勉強です。自身のスケ・モレを埋めていく作業を繰り返すイメージです。「解説」をじっくり読んで解き直し、次は誤答にならないよう類問を繰り返し解くことが有効です。

③入試の過去問題を分析し、傾向と対策を練る

スポーツ競技でも対戦相手の分析が勝敗を分ける場面がたくさんありますね。受験も同じです。受験の対戦相手は大学側が作成する入試問題です。大学が求める学生像(=入学してほしい生徒)は毎年大きく変わることはないわけですから、過去の入試問題の分析は勝利(=合格)に向けて大切な要素になります。

ただし、学校全体としては、概して共通テストに焦点を当てた受験対策を行うこととなります。国公立大学や私立大学の個別試験については、自分で主体的に対策を練ることとなります。進路室には、各大学の過去問題集「赤本」(1・2年生も利用可)が数年分揃っています。最新刊以外は1週間の貸出が可能です。共通テスト後、個別試験までの時間は、約10日から30日程度。よって、この夏休みに目を通してその傾向を知っておくと、共通テスト後も焦ることなくなります。また、今後の授業を受ける姿勢も個別試験を意識することで、大きく変わってくるはずですよ。

④情報収集を怠らない

受験で戦うのは皆さん自身です。戦略的に戦うためにはまずは最新の情報を手に入れる努力を怠らないようにしましょう。毎年6月～7月に各大学から入学者選抜募集要項が配付されます。是非Web上からダウンロードし、印刷したものを保護者の方とも共有しましょう。科目や配点は必ず(民間の出版物やWebサイトではなく)募集要項そのもので確認し、複数の出願パターンを考えておきましょう。

「古い赤本」無料配付会

日時：7月25日(金) [雨天延期]

12:25～配付開始

対象：熱意ある3年生

場所：生徒昇降口前の広場

配布物：2020年版の「赤本」等問題集

3 共通テスト出願に係るマイページ作成がスタート

令和8年度大学入学共通テスト受験案内の配付が6月に開始され、7月1日からは出願に必要なマイページ作成が可能になりました。今年度から共通テストへの出願がすべて電子化され、9月16日(火)から始まる出願作業も、このマイページ上で行うこととなります。3年生は、受験案内をよく読み、「知らなかった!」ということがないようしてください。1・2年生も大学入試センターのホームページから閲覧が可能です。共通テストの仕組みを早くから理解しておくことは大切ですので、是非受験案内を確認してみてください。

令和8年度
大学入学共通テスト
受験案内

【出願期間】
出願7月9日(火) 10:00～10月3日(金) 17:00
出願7月9日(火) 10:00～10月3日(金) 23:59

【試験日】
令和8年1月17日(土)・18日(日)

※ 試験料等の支払いは、試験当日の受付でお願いします。
※ 試験料等の支払いは、試験当日の受付でお願いします。

国立大学入試センター